

日本ユマニチュード学会の賛助会員になりました

ユマニチュードとは、知覚・感情・言語による包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法です。

「見る」「話す」「触れる」「立つ」という人間の持つ特性に働きかけ、ケアを受ける人の「人間としての尊厳」「人間らしさ」を大切にするための哲学と技術です。特に高齢者と認知症患者において有用とされています。

ユマニチュードには、フランス語の造語で「人間らしさを取り戻す」という意味があります。

フランスの体育学の専門家イヴ・ジネストとロゼット・マレスコッティが提唱し、すでに10か国以上の国で導入されています。日本でも介護・医療現場での新しいケアのあり方として注目が高まっています。

ユマニチュードは、ケアを受ける側が優しい気持ちで受けられるという点が最大の魅力ですが、ケアを行う側も優しい気持ちで臨め、職員の離職率低下につながったなど、嬉しい効果もあるようです。



山陽病院にユマニチュードの哲学と技法を浸透させるため会員になりました！

山陽腎クリニック

ISO9001:2015 を更新しました

山陽腎クリニックでは、3月9日、10日の2日間にわたり、ISO9001の更新審査を受け、無事に更新することができました。このたび登録証が届きましたのでご紹介します。

今回は新型コロナウイルスのこともあり、特に感染対策について詳しく審査が行われましたが、日ごろから意見を出し合い池辺院長と相談しながら行ってきた取り組みについて、審査員からは高評価をいただきました。



特別養護老人ホームしんがい

第53回ばら花壇コンクール企業花壇の部で特別賞をいただきました



特別養護老人ホームしんがいが、「第53回ばら花壇コンクール」福山明るいまちづくり協議会様より企業花壇の部で特別賞をいただきました。

バラを愛し啓発活動に取り組んでいる企業に贈られます。いつも田口施設長が花壇を手入れしています。これからもより多くの皆様に素敵なばらを楽しんでいただけるよう、ばらづくりと地域づくりに取り組んでまいります。一緒に花壇づくりにご協力いただける方は是非しんがいへお声かけください。

【医療法人辰川会】

山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel:(084) 923-1133(代) Fax:(084) 923-1158

山陽腎クリニック 人工透析内科/人工透析内科
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番9号 Tel:(084) 928-5500(代) Fax:(084) 928-5535

山陽ゆまぐま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科
〒720-0311 福山市志保町2031-1 Tel:(084) 980-0034(代) Fax:(084) 987-3450

【社会福祉法人さんよう】

特別養護老人ホームくさど
〒720-0831 福山市神戸町目8番24号 Tel:(084) 973-9911(代) Fax:(084) 928-9988

特別養護老人ホームしんがい
〒721-0935 福山市新通町3丁目19番21号 Tel:(084) 951-3565(代) Fax:(084) 9261-3950

ふれあい

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



126
2021.8発行
TAKE FREE
辰川会 広報誌

新型コロナワクチン

山陽病院 外来 副主任看護師 矢田川忍

山陽病院の外来では、6月下旬から1日6名～12名の患者様へ新型コロナワクチンの接種を実施しています。

ワクチンは感染症に対する免疫をつけたり強めるために接種します。一人ひとりの発症や重症化を予防するだけでなく、多くの人が接種することで、社会全体の流行を防ぐことが期待されます。

初めてのことで患者様も不安な気持ちで来院されると思いますが、少しでも不安が少なくなるように、接種開始日までに導線(受付から接種・待機場所)や職員の動きをシミュレーションし、準備を整えました。

安心・安全・スムーズにワクチン接種が行えるように、受付スタッフと外来看護師で細やかな連携を取っています。ワクチン担当の医師も毎日決まっており、万全な状態で接種を実施しています。接種された患者様の中には「やっぱここへ打ちに来てよかった!」と言われる方もいらっしゃる、安心いただけてよかったと思っています。1日にたくさんの人数ではないですが、かかりつけの患者様や地域の皆様のお役に立てて光榮です。



ワクチン接種も進んでいますが、手洗い・うがい・消毒もしっかり行ってコロナウイルスから自分自身や家族・大切な人を守っていきましょう。

移乗サポートロボットHugの導入

特別養護老人ホームくさど 生活相談員 植村泰広

移乗サポートロボットHugは、介護現場において、ベッドから車椅子、車椅子からお手洗いといった座位間の移乗動作や、脱衣場での立位保持をサポートするロボットです。

2021年2月に、特別養護老人ホームくさどと特別養護老人ホームしんがいにそれぞれ1台ずつ導入しました。



利用の際には面倒なセッティングは不要で、使いたいときに手間取ることなく使うことができます。これまで職員二人で行っていた移乗・トイレ介助が一人で行えるようになるため、業務の効率化につながるるとともに、職員の腰痛対策など介護現場の環境改善の一助となっています。

透析キットと透析装置洗浄剤を変更しました

山陽腎クリニック 主任 臨床工学技士 矢野真悟

透析患者様は感染に対する抵抗力が弱いため、日々の治療や処置中の感染対策がとて重要です。このたび山陽病院、山陽腎クリニック、ぬまくま腎クリニックの3施設では、感染対策をより一層強化するため、透析キットと透析装置洗浄剤を変更しました。

透析キットは、透析治療の開始と終わりの処置に使う消毒剤やガーゼなどのことです。スタッフがいろいろな商品を何度も試し、皆で評価・検討し決定しました。これまで使用していたものより長時間効果が続く消毒剤や、短い時間で確実に止血できるタブレットタイプのガーゼ、再出血を少しでも防ぐために圧迫できる大きいサイズのブラッドバンを採用しています。

透析装置洗浄剤は、その名の通り、透析装置を洗浄するものです。透析装置は、毎日透析後に洗浄と消毒を

行っており、様々な細菌・ウイルス・異物を除去しています。こちら、これまで以上に効果の高い洗浄剤を導入しました。きれいな透析液を使用することは、慢性的な炎症反応を軽減したり、合併症のリスクを低下させたりすることができます。日々最新の情報を取り入れ、今後も患者様が安心して透析治療を受けられる環境を整えていきます。



透析キット

透析装置洗浄剤導入前のWEB勉強会の様子

院内感染対策委員会 ICTチーム
山陽病院 副主任看護師 岡本浩子

手洗いちゃんとできていますか？

昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染症の蔓延が続いていますが、山陽病院では大きな混乱を招くことなく診療を継続することができています。今後も新型コロナウイルス感染症に負けず、地域の方が安心して



受診できるよう対策をしっかりと考えていきたいと思います。

そのためにも、まずは基本に戻り手洗いがしっかりできて

いるか、ブラックライトを使用した手洗いチェックを看護師だけでなく院内で働く全ての職員に行いました。ブラックライトは適切な手洗いができているか確認できる道具です。専用の液を手全体に塗り普段通りの手洗いを行った後、ライトを当てると液が落ちていない場所は青色に光ります。洗い残しが目に見えてわかりやすいため、以前このチェックを受けたことがあるスタッフも「そういうば、(洗い残した場所が)前もここだった」と再確認し振り返る事ができたようです。全体的に指先や指間部分の洗い残しが目立つため、30秒間の手洗いを意識して適切な手洗いが継続できるよう病院全体で今後も取り組んでいきたいと思います。

職場巡視をしています！

衛生管理者
看護師 折見佳子

山陽病院では、衛生管理者が定期的に職場巡視をしています。職場巡視の目的は、職場環境に健康被害や労働災害の原因となりそうものがないかをチェックし、スタッフが安全に働くことができるよう改善に繋げていくことです。

私は今年の春から職場巡視に取り組んでいます。照明の明るさや、室内の温度、湿度、パソコンの配線、コンセント周りのホコリ、机の上や倉庫の整理整頓状況など、これまであまり意識してきませんでしたが、衛生管理者という立場でチェックしてみると、安全に気持ちよく働ける職場のためにはとても大切なものだと感じています。

巡視の際に気付いたことをスタッフと話していると、これまで思いつかなかったような新たな業務改善が生まれることもあります。そのような時は、安全管理という衛生管理者の役割以上に、職場に貢献できたという充実感があります。

これからも、スタッフがケガをしったり病気になつたりしない安全な環境となるよう職場巡視をしていきます。



びんごデジタルラボ

福山市地域包括支援センター野上 管理者/社会福祉士・介護支援専門員 栗田一博

3月に福山市地域包括支援センター野上が開催した「つなぐネット会(多職種連携の会)」は、会場とオンラインで同時開催し参加者から大変好評でした。

コロナ禍で地域や団体の交流が少なくなる中、デジタル技術を活用した今回の取り組みが注目され、6月17日に特別養護老人ホームしんがいで同様に行った「認知症を学ぶ会」にソフトバンク(株)の方が見学に来られ、社会福祉法人さんよしの辰川和美理事長が取材を受けました。

ソフトバンク(株)は今年度から福山市と協働し、地域のデジタル化推進に向けて『びんごデジタルラボ』という取り組みを始めています。びん

ごデジタルラボでは、実際に地域で行われているデジタル技術を活用した活動が紹介される予定です。辰川会グループでも今後、デジタル技術を活用し地域活性化に向けて取り組んでまいります。



高校生 ふれあい看護体験

7月31日、8月7日の2日に分けて、盈進中学高等学校と府中高等学校の生徒計11名が山陽病院に看護体験に来てくれました。院内を見学後、血圧測定、車いすやストレッチャー、手浴・足浴体験をしてもらい、医療現場を知ること



実習生が続々来てくれました

5月～8月にかけて、たくさんの実習生が来てくれました。感染対策に気をつけながらの実習となりましたが、普段の授業とは違った発見があり充実した時間となったようです。

【実習生受入状況 5月～6月】

福山大学大学院 心理臨床学専攻	5月6日～6月24日	山陽病院 心理科(オンライン)	3名
広島国際大学 臨床工学専攻	6月21日～ 7月9日	山陽病院 山陽腎クリニック 透析室	2名
福山市医師会看護専門学校	7月19日～ 8月5日	山陽病院 病棟	5名
広島工業大学 臨床工学専攻	7月26日～8月13日	山陽病院 山陽腎クリニック 透析室	2名
福山医療専門学校 看護学科	7月26日～7月29日	福山市地域包括支援センター野上	3名
専門学校岡山ビジネスカレッジ 医療事務学科	8月16日～8月27日	山陽病院 医療・介護情報管理室	1名



福山市医師会看護専門学校

外部発表

第29回中国腎不全研究会学術集会 3/7

・Excelを使用したバスキュラーアクセス管理システムの構築 (WEB ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 赤柴徹真

日本老年臨床心理学会第3回大会 3/21

・地域で働く公認心理師の役割と課題～認知症地域支援推進員の立場から～ (WEB 口演発表) 地域包括支援センター野上 公認心理師 錦織翼

第66回日本透析医学会学術集会・総会 6/5

・トンネル式上腕動脈表在化の試み (WEB ポスター発表) 山陽腎クリニック 院長 池辺宗三人

第66回日本透析医学会学術集会・総会 6/4

・エコー下穿刺専用エコー機を導入して～穿刺環境・教育の変化～ (WEB ポスター発表) 山陽腎クリニック 臨床工学技士 井本琢也